学校番号 404

令和5年度　　国語科

教科	国語	科目	現代文B	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校改訂版「現代文B」（第一学習社）						
副教材等	「語彙力をつける入試漢字2600」(筑摩書房) 最新国語便覧（浜島書店） 論読　現代文3（浜島書店）						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章に触れることで、大学入試に対応出来る読解力、論理的思考力を学びます。
・人間を深く洞察する小説に触れ、豊かな人間性を養う学習を行います。
・ICTやディスカッションといった様々な活動を取り入れた授業を行います。
・定期考査や受験に向けて、計画的に学習に取り組みましょう。

2．学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d：読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている.
評価方法	授業態度	発問評価	・記述の確認及び分析（ノート、ワーク、ワークシート、原稿用紙等）	・行動の観察 ・記述の確認及び分析（ノート、ワーク、ワークシート等） 定期考査	定期考査 学習課題集の提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	写真の持つ力	・評論の読み方に習熟する。 ・「ジャーナリズムに何ができるのか」という問いに対する筆者の考えを理解する。 ・写真というメディアの持つ特徴について調べ、まとめる。	◎	○	○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	未来世代への責任	・評論の読み方に習熟する。 ・環境問題について経済学的な側面から理解し、その解決方法について考えを深める。	◎	○		◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：自分の考えを説明し、相手の話に耳を傾けている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解し文章を書いている。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	タオル	・小説の基本的な読み方を習得する。 ・場面の展開と、登場人物の心情について正しく読み取る。	◎	○	○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
1	いのちのかたち	・評論の読み方に習熟する。 ・「いのち」という言葉に表れている日本人の生命観について理解する。 ・「いのち」と「生命」の違いについて考え、話し合う。	◎	○	○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
2	舞姫	・ある程度の長さのある小説の読み方に習熟する。 ・文語体の小説を読むことに慣れる。 ・近代の代表的な小説を読み、時代や人間のあり方について理解を深める。 ・文語体の小説のおもしろさを積極的に味わう。 ・登場人物を自分に引きつけて理解する。	◎	○	○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2	目に見える制度と見えない制度	・評論の読み方に習熟する。 ・人間を取り巻く制度に対する関心と問題意識を深める。	◎	○	○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査
3	身体の個別性	・評論の読み方に習熟する。 ・人間のあり方はどのようなものか、また、他者とのかかわりはどうあるべきかについて、考えを深める。 ・作品で述べられていることをもとに、自らのあり方を振り返る。	◎		○	◎	◎	a：文章をすすんで読もうとし、国語を尊重しようとしている b：相手の考えを踏まえ、自分の考えを説明したり、考えを相対的に話し合っている。 c：適切な表現で文章を書いている。 d：文章の筋道を的確にとらえようとしている。 e：文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・行動の観察 ・記述の確認及び分析 ・学習課題集の提出 ・定期考査

※ 表中の観点について　　a：関心・意欲・態　b：話す・聞く能力
c：書く能力　　d：読む能力　　e：知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。